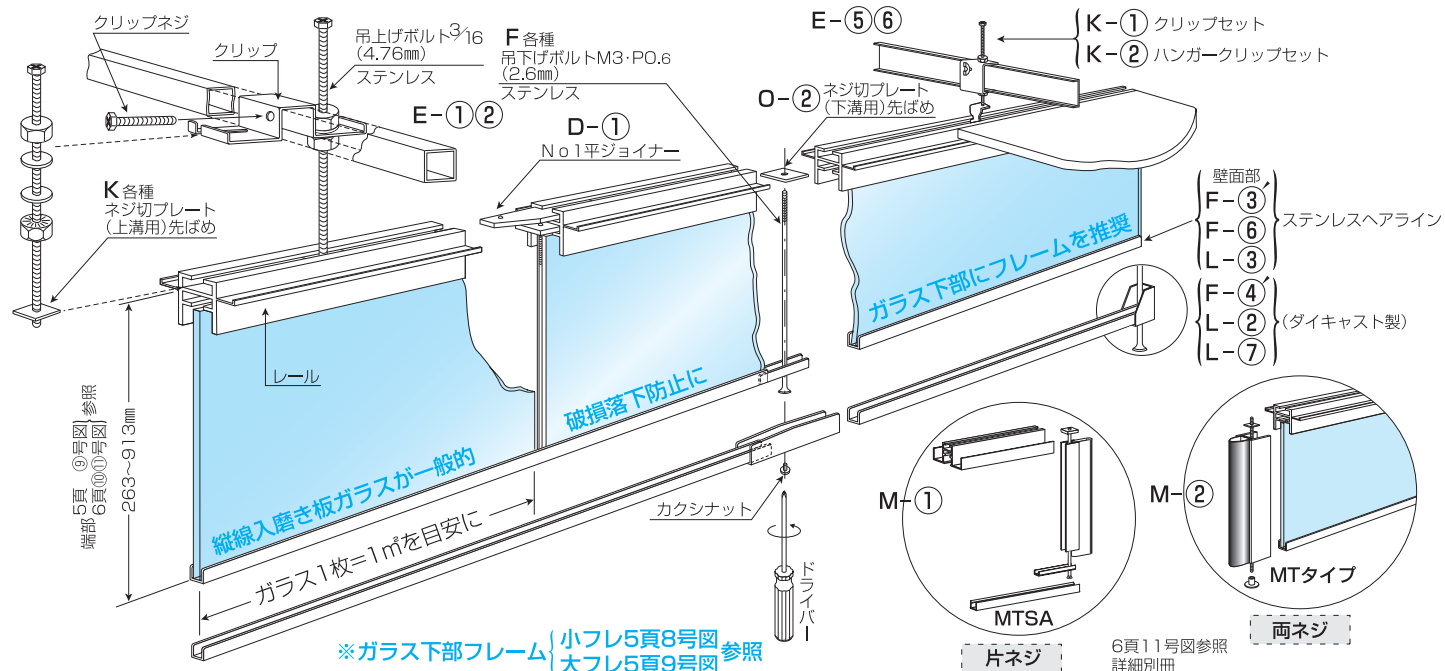


M式ツリコ 標準組立納まり図

(本図レールは101-1を示す)

※数字の○は品番です。(3頁の部材表参照) ※天井部 クリップ、レール等は5、6頁1～3号図参照



必ずお読みください。 ご注意

施工不備・改造パーツの併用については、責任を負いかねます。

- ①ポウタレのガラスが落下すると物損や人命にかかわる恐れがあります。(屋外設置は不可です) 従って各部材のネジ類は**完全な締結**と図示確認の上、十分ご注意ください。(ガラスH800mm以上はサッシ工事推奨)
- ②天井野縁(Mバー)にレールをタッピングビスなどで直付けすると脱落する恐れがあります。(Cバー活用推奨)
- ③レール端部より吊下げボルトのネジ切りプレートが**ハズレぬ**ようご注意ください。
- ④レールのたわみを防ぐため、**ガラスジョイント上部に、クリップの設定にご留意ください。**(標準割付図参照)
- ⑤破損予防に**面内外揺れ対策**と、ガラス面と内装工作物は**隙間(5cm以上)**が推奨です。(6頁10・11号図参照)
- ⑥近年の地震調査結果上、免震部材構造**MTSA・MT**の使用と**レール上部はシーリングを推奨。**(チェックリスト参照)

施工手順

※先ず部材確認と各種詳細納まりを参照下さい。

- 1)レール下溝に必要な数の先ばめネジ切PLを必ず先に入れておく。
※但し固定式吊下げボルトは必要ありません。
- 2)天井下地に補強材・ジョイナー・クリップを用いレールを取付ける。
- 3)レール取付け後に吊下げボルトセットを仮セットする。
- 4)壁面ガラス受け、フレーム・ジョイント金具を用いガラスをはめ込む。
- 5)ガラス接触部を、シーリング装着する。
※但し、Gタイプはガラス上部のレール部分はシーリングの必要ありません。
※レール設置は天井仕上げ前に必要です。耐重にも考察下さい。

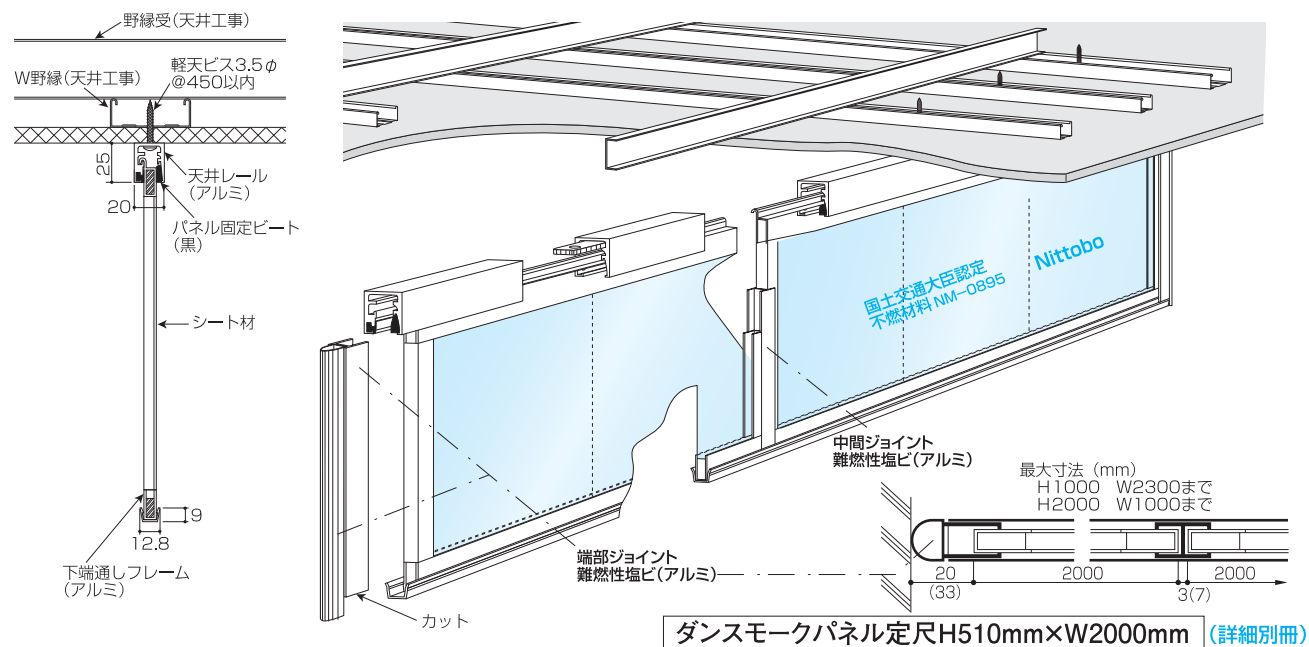
Gタイプについて 特にシリコン・クリアにはご注意ください!

ゴムとシリコンの成分により、シリコンが**変色**する恐れがありますので接点に、ご配慮ください。

- ⑦吊りボルトの荷重強度は約180kgです。
但し、ガラスH寸法800mm以上の場合、**面外揺れ**の不安定要素対策にご留意ください。6頁10号図参照
- ⑧異形について **異形連用受の荷重は30kg以内**です。
ガラスと吊りボルトの**強度減**に、ご注意ください。4頁(C)・(D)図
- ⑨**ガラス1枚=約1㎡を目安**にしてください。
H寸法が500mmはW1800mm/mが基準です。

MDS 更に安全なM式ダンスモーク(引っ掛けタイプ) 吊ボルト式も可能

(詳細別冊)



地震の被害記録と教訓より(特にS構造が被害大) W9m以上のロングスパンは中間にも免震対策を推奨します。

壁面、段差天井部のガラス破損が多く、落下もみられた。その対策として、①免震部材の使用を! 6頁11号図参照。
②ガラス下部、通しフレームを加える、③段差ガラスのえぐりを少なくする。④天井下地の周辺を! 6頁3A参照。事前、要チェック。
※免震について、過去40年の調査からMTタイプ(H500mm)は神戸震模擬テストを大々実施し、震度7クラスにも耐え異常なかったことから計数値したものです。また、MTSA(シート部W200mm~100mm)はシート部分が湾曲空洞の為、衝撃吸収型でガラスの破損を軽減するものであります。硝子の破損防止を保障するものではありません。
※弊社の調査結果から地震の震度・長周期・短周期・揺動時間・天井の具合などで、都度の数値は困難でもあり被害調査結果によるものです。

標準割付図

※最初に割付計画をして下さい。 H500mm/m・6.8mm/m網入ガラスを使用した通例
※各ガラス寸法と条例は、地域により若干異なる場合がありますので、設計監理者及び関係官庁にご相談ください。
※平成12年6月の建築基準法の改正に伴い、「避難安全検証法」が追加されました。

参考積算用

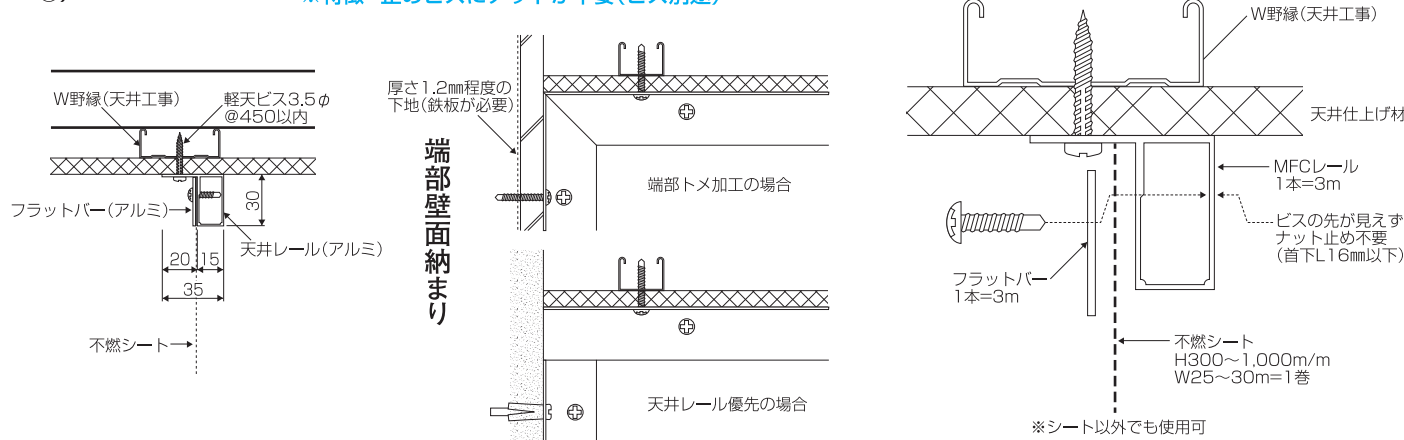
※レール101、ガラスH500mmで試算(単位mm) ※特注ボルト最大寸法φ2,000mm(条件付)

積算用仮定 数量チェック の要点	標準割付図				
	①レールの品種と本数は! ジョイナーの数!	②クリップの種類! 補強材の有無!	③吊下げボルトの種類 壁面納りの形・H寸法!	④ガラス下部面取りor 通しフレーム2種類寸法!	⑤その他、 必要な部材は!
	1,800	1,800	1,800	1,800	1,300
	(W) 8,500 m/m				
	品番 (101の場合) 品名	数量			⑤その他、必要なものは加算する
①	A-① レール101	3本	9 m	天井段差 ガラス異形受 免震用[MT・MTSA] 補強材など	
	D-① 平ジョイナー	2個			
②	K-①② ハンガークリップS	11 S			
③	F-②⑥ F-③③ 吊下げボルトS	φ(H寸法)mm	6 S		
④	A-⑧ 後付け通しフレーム	5本			

MFC 簡易直付け式・不燃シートなどパネル枠ナシで可能

(A-⑨)

※特徴=止めビスにナットが不要(ビス別途)



ガラス防煙垂れ壁の部位別安全順位チェックリスト

被使用体	順位	1	2	3
A: 建物構造体		SRC・RC造・震災に被害微小	S造杭基礎有	同左杭基礎無
B: 天井下地		下地周辺の隙間5mm以下	同左大	システム天井
C: 建物階段		BF	1F	2F以上
D: 防煙端部(柱・壁面)		免震部材方式(MTSA・MT/タイプ)	ボード加装タイプ	絶縁シールタイプ
E: ガラス形状・下部フレーム		標準矩形 H寸法800mm以下	変形斜形	段差エグリ
F: 上部レール・目地など副資材		一般タイプ(シーリング施工)	Gタイプ・ゴム製	塩ビガasket

※MTタイプはH800mm以上は不可 ※特注ボルトは2,000mmまで可能、ただし段差部分など条件つき ※地震記録参照